

2011年度

科目名	教育相談の理論と実際			
担当教員	和田野 康子			
配当	教福3		コード	41032
開期	後期	講時	木曜日1限	単位数 2
授業テーマ	児童をとりまく「心」の問題について、教師が行う教育相談に関する理論と実践を学ぶ。			
目的と概要	社会の急激な変化や価値観の多様化に伴い、家庭・地域・社会全体の問題が集約して学校現場ではさまざまな問題が生じてきている。たとえば不登校やいじめ、非行、神経症的症状、学級崩壊などである。教育活動は教科内容を教えるだけではなく、子どもの人格形成にも関わるものであるから、個々子どもが呈する問題行動や症状について、教師はその背後に潜む子どもの内面をよく理解し、適切な対応をしていく必要がある。本講では、教育相談を行う際に必要な理論と具体的な方法、児童が呈しやすい問題を理解するために必要な基礎知識について詳述する。			
成績評価法	平常点(約15%)、試験(約85%)			
テキスト	一丸藤太郎・菅野信夫編著:学校教育相談 ミネルヴァ書房			
参考書				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	教育実習以外でも、ボランティア活動などでできるだけ学校現場に出向き、児童・生徒の実態把握に努めることが望ましい。			
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育相談とは・ 2. カウンセリングの理論と実際 3. カウンセリング・心理療法の紹介 4. 児童・生徒の心の問題の理解と対応(1)精神医学的な基礎 5. 児童・生徒の心の問題の理解と対応(2)神経症的問題の理解と対応 6. 発達障害の理解と対応 7. 不登校の理解と対応 8. いじめの理解と対応 9. 学級崩壊の理解と対応 10. 反社会的問題行動の理解と対応 11. 児童虐待についての理解と対応 12. 保護者への対応 13. 教師のメンタルヘルス 14. 事例研究 15. まとめ 				